

## 令和3年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

「夢創造」の教育力と確かな進路実現力を持つリーディング工科高校

- 「確かな学力」を身に付けた社会に貢献できる「ものづくりリーダー」を育成する。
- 規律・規範の確立と豊かな心を育む教育により、自律心や人を思いやる心を持つ生徒を育成する。
- 教員の資質向上を図るとともに、学校の組織力向上に努める。
- 地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。

## 2 中期的目標

めざす学校像の実現に向け以下の取組を行う。

## 1 「確かな学力」の育成

- 新学習指導要領を踏まえつつ、感染症対策を継続しながら、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性の涵養を図り、社会に貢献できる「ものづくりリーダー」を育成する。
  - 家庭学習の習慣を各教科で検討し、令和5年度には生徒向け学校教育自己診断「家庭学習時間1時間以上」を25%以上にする。  
(H30-20%・R1-16%・R2-22%)
  - 課題研究や総合的な探究の時間等を活用し、「自ら問題を見つけ出し、よりよい答えをつくり、提案する」力を育成する。生徒自治会行事などで生徒の自主的活動の活性化に取り組む。
  - 部活動について生徒自治会や顧問を中心に活性化を図り、令和4年度には部活動加入率60%以上にする。  
(H30-54%・R1-53%・R2-55%)
- 基礎学力の定着を図り、専門性の深化と高等教育機関への接続に対応した教育の充実に努める。
  - 外部テストの活用、講習・補習や土曜講座の実施等により、生徒の基礎学力の向上に努める。
  - 工学系大学進学専科の授業内容や取組み等を充実し、さらなる生徒の進路実現を図る。
  - 各系において企業、外部機関、大学等と連携した教育活動を行う。
  - 高度な資格や検定の取得向上に努める。

## 2 規律・規範の確立と豊かな心の育み

- あらゆる教育活動を通じて社会人基礎力が身に付くよう指導するとともに、生徒の進路実現（就職・進学）100%を維持する。  
(H30-100%・R1-100%・R2-99%)
  - 3年間を通じたキャリア教育や進路指導を計画的に推進する。
  - 適切な就職指導により就職一次内定率85%以上を維持する。(H30-88%・R1-87%・R2-87%)
  - 離職率調査を継続し、その結果をキャリア教育や進路指導に活用する。
- あらゆる教育活動を通じて人権尊重の教育を進めるとともに、規律ある学校生活ができるよう教員全員で指導に努める。
  - 各系・分掌・教科・学年団等の連携を充実し、中退者・留年者の減少に努め、中退率0.3%以下、原留率1.0%以下にする。  
(H30-中退率0.4%、原留率1.2%) (R1-中退率0.3%、原留率1.3%)  
(R2-中退率0.9%、原留率0.6%)
  - 「おはよう運動」、挨拶の徹底、清掃美化活動に取り組み、生徒の基本的な生活習慣の確立に努める。
  - 人を思いやる心を持つ生徒を育成するとともに、「いじめ」の未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。
  - 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別等が生じないように取り組む。

## 3 教員の資質向上と学校の組織力向上

- 豊かな経験を持つ教員による研修や研究授業を推進するとともに、外部研修を積極的に推奨し、教員の資質向上に努める。
- 経験年数の少ない教員を中心に実践的な研修計画を立てるとともに、各系・分掌・教科・学年団等においてOJTを推進する。
- 教職員が情報や課題を共有するとともに、スムーズに課題解決に取り組むことができる学校運営体制の確立に努める。

## 4 地域に信頼される開かれた学校づくり

- 地域と連携した取組みやボランティア活動などの地域貢献に努め、地域に信頼される教育の充実に努める。
- 専門高校としての特色ある教育内容について、広く府民への情報発信や学校PRに努める。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年1月実施]	学校運営協議会からの意見
<p>【結果(上位)】</p> <p>■生徒用集計結果で肯定率の上位8位まで</p> <p>第1位「校内では、挨拶がかわされている」 96.8% (R2 93.9%)</p> <p>第2位「高校生活は、人間形成に大切な時期である」 95.8% (R2 92.9%)</p> <p>第3位「学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」 93.4% (R2 91.7%)</p> <p>第4位「校内では規則・ルールが守られている」 93.1% (R2 88.0%)</p> <p>第5位「先生は、責任をもって、授業やその他の仕事に当たっている」 91.8% (R2 87.0%)</p> <p>第6位「今工の学校生活は満足している」 89.9% (R2 87.8%)</p> <p>第6位「この学校には、他の学校にない特色がある」 89.9% (R2 91.1%)</p> <p>第8位「学校行事は、みんなが楽しく参加できるように考えられている」 88.9% (R2 81.5%)</p> <p>【分析(上位)】</p> <p>全体的な結果は向上しており、教職員の指導とともに生徒の意識向上が挙げられる。なお、同率第6位の特色だけが1.2%低下しているが、結果は高く、今年度末にスマート専門高校予算で導入される設備等を踏まえ、来年度は結果の向上が期待できる。</p> <p>【結果(下位)】</p> <p>■生徒用集計結果で肯定率の下位8位まで</p> <p>第1位「将来の進路に不安はない」 46.8% (R2 52.5%)</p>	<p>■第1回(7/26)書面開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度評価から生徒の学校満足度は高く、肯定度は概ね満足できるものになっている。</li> <li>学校としての教育内容や特色が中学校や地域に発信され、工科高校の魅力として伝わっていくことを願っている。</li> </ul> <p>■第2回(12/22)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後は企業がどういった人材を求め、どういう働き方を推奨するのかをしっかりとリサーチしたうえで生徒に伝える必要がある。</li> <li>働き方の多様化、求人として求めるものの変化、今の状況下における多様化へ対応できる柔軟性、新たな働き方に対する対応力が求められている。</li> <li>コロナ過の中でも学校はいろいろと対応してくれている。</li> <li>評価について、まず大事なことは学習指導要領のねらいに合わせた授業改善があり、その授業に合わせた評価を進めて欲しい。</li> <li>教育は先生が情熱をもって指導することが大切であるので、今後ともよろしく願いたい。</li> </ul> <p>■第3回(3/11)書面開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中、進学・就職や日常の指導等、学校として頑張っていることがよく伺える。</li> </ul>

## 府立今宮工科高等学校

第2位「部活動に積極的に取り組んでいる」	51.5% (R2 55.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今工のめざす学校像、目標が凄く分かりやすく、前年度などとも比較し易かった。基礎学力・専門分野の学習・資格取得について、先生の指導により生徒たちも凄く頑張っているのが伝わった。さらに、3年後の進学・就職に向けて「あいさつ」「清掃」「部活動」「遅刻」の指導等、当たり前であるが難しい指導に感謝したい。また、就職に向けた企業の情報提供も凄くありがたい。時代が刻々と変化しているが、変化に合わせた今工生の指導をお願いしたい。</li> <li>・今工での生活は、生徒たちを凄く成長させてくれている。自分で考え行動することや時間の使い方、人とのつきあい方、責任をもって行動してくれているのがよく分かる。これからも生徒たち一人ひとりに即した教育、指導をお願いしたい。</li> <li>・校内での挨拶がかわされていることや、ルールの遵守など規範意識の高い環境が形成されている。一方で、集団になじめない個別の指導が必要な生徒へのきめ細かな相談の機能の向上に一層の取組みをお願いしたい。就職や工学系を中心とした大学進学など、進路の実現に向けた取組みが進められ、着実に実績も伸ばしている。</li> <li>・来年度から実施となる新学習指導要領(学年進行)の趣旨を踏まえ、学んだことを生徒が社会で活用できる能力の育成ができるよう、さらなる授業改善を期待する。</li> <li>・コロナ禍であるが、収束すれば中高連携を推進願いたい。</li> <li>・学校教育自己診断において、部活動に関する結果が下位2位であり、部活動にもっと力を入れて欲しい。</li> </ul>
第3位「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」	52.0% (R2 54.2%)	
第4位「自分には将来の夢や目標がある」	68.9% (R2 52.5%)	
第5位「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」	74.9% (R2 72.7%)	
第6位「学校生活についての先生の指導は、納得できる」	75.5% (R2 71.6%)	
第7位「校内では、清掃がいきとどいている」	76.5% (R2 72.9%)	
第8位「今工生であることに誇りを持っている」	78.1% (R2 76.6%)	
【分析(下位)】 下位第1, 2位とも、コロナ禍の影響が考えられるが、生徒の不安や活動できる環境を今後とも整えていく。 下位第3位は、学校として進路指導に重点を置き、教職員と生徒との間でメリハリのある指導をしている結果ではあるが、メリハリの中でも相談しやすい体制づくりと相談室のさらなる啓発を行う。 その他の質問項目は、全体的に向上しており、さらなる向上を図るため、教職員全員が結果を共有し、改善に向けて対応策を検討する。		

## 組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 「確かな学力」の育成	(1) ・家庭学習の習慣化 ・生徒の自主的活動の活性化 ・部活動の活性化 (2) ・基礎学力の向上 ・企業や大学等との連携 ・高度な資格取得	(1) ・各教科で調べ学習と発表を推奨する。 ・各系課題研究発表会及び全系合同課題研究成果発表会の実施。 ・部活動紹介等により部活動加入を推進する。 (2) ・外部テストの学力向上等への活用 ・少人数展開授業の推進と講習の充実 ・土曜講座(飛翔教室)の充実 ・全系において企業、外部機関、大学等と連携した教育活動を実施する。 ・資格取得の取組みを推進する。	(1) ・学校教育自己診断「学校満足度」90%以上 [88%] ・学校教育自己診断「家庭学習時間1時間以上の生徒」20%以上 [22%] ・合同課題研究成果発表会生徒アンケート肯定率80%以上 [中止] ・部活動加入率58%以上 [55%] (2) ・外部テスト結果の学習到達ゾーンC以上50%以上 [38%] ・土曜講座実施回数年間12回以上 [1回] ・全系が企業・大学等と連携事業を実施 ・資格取得件数をR1時に回復させる。[453件]	・89.9% (○) ・22.2% (○) ・2月18日コロナ禍で中止 (ー) ・55.0% (△) ※運動部37.8%、文化部17.2% ・1年58.1% (100/172名) (◎) 【参考】2年46.4% (96/207名) 3年42.7% (97/227名) 全体48.3% (293/606名) ・12月に2回実施 (ー) ※コロナ禍で10月まで実施できず ・M・E・A・G系 インターシップ、企業見学T系 大学見学 (○) ・460件 (△)
2 規律・規範の確立と豊かな心のはぐくみ	(1) ・キャリア教育、進路指導の推進 ・就職指導、進学指導の充実 ・離職率調査の活用 (2) ・人権教育の推進 ・基本的生活習慣の確立	(1) ・各学年団と進路指導部によるキャリア講演会、見学会、進路ガイダンスの充実 ・企業訪問、求人情報等の収集、及び面接の事前指導の強化 ・講習や進学相談等により進学指導を充実 ・離職率調査を実施し、進路指導に活用する。 (2) ・教職員人権研修を推進し、教員の豊かな人権意識を醸成する。 ・「おはよう運動」の継続と強化で遅刻減少。 ・3Sポスター掲示等で校内美化を定着。	(1) ・就職・進学ともに進路決定率100%継続 ・就職1次内定率85%以上を維持 [87%] ・SPIテスト平均65以上 [58.7] ・卒業後3年全員の離職率調査の実施 [32%] (2) ・教職員人権研修2回以上実施 [1回] ・中退率0.3%以下、原留率1.0%以下 [中退0.9%、原留0.6%] ・遅刻を10%減 [495件] ・生徒向け学校教育自己診断「校内清掃がいきとどいている」肯定率75%以上 [73%]	・就職99.4% (169/170名) 進学100% (57/57名) (△) ・78.9% (120/152名) (△) ・3年62.4点 (全国平均52.0点) (△) 【参考】2年66.9点 (全国平均57.8点) ・H30.3卒の離職率19.1% (◎) ※今年度は全系調査 ・2回実施 12/20、2/16 実施 (○) ・中退率 0.49% 原留率 1.16% (△) ・364件、26.5%減 (◎) R3:364件/611名 0.60件/名 R2:465件/709名 0.70件/名 ・76.5% (○)
3 学校の組織力向上と教員の資質向上	(1) 研究授業等の推進 (2) 新採教員等の育成 (3) 学校運営体制の確立	(1) ・ICT機器活用のための講習会や研究授業を実施する。 (2) ・新任教員等、経験年数の少ない教員の校内研修を充実する。 (3) ・スムーズに課題解決に取り組むことができるよう学校運営体制の検証及び改善に取り組む。 ・教職員の「働き方改革」の取組みについて、安全衛生委員会等で検討する。	(1) ・ICT機活用のための研究授業等を年2回以上実施する。 [2回] (2) ・経験年数の少ない教員の校内研修を年間3回実施する。 [3回] (3) ・学校運営体制の検証および分掌・委員会再編に取り組む。 ・毎月の安全衛生委員会等で、「働き方改革」の取組みについて検討する。 ・教員の年間一人当たりの平均時間外在校時間を240時間以内とする。[269時間]	・10回以上実施 (◎) 初任者ICT機器活用の研究授業 2回 各教科(11教科)でChromebook活用研究 全体でG Workspace活用研究 ・21回実施 (◎) 校内13回、校外4回 GIGAスクール関連研修4回 ・8回実施 (◎) ・各自の時間外集計表を不定期に配付して啓発 職会で昨年度と比較した表を配付して啓発 (◎) ・平均327.6時間 (△)

## 府立今宮工科高等学校

<p style="text-align: center;">4 地域に信頼される 開かれた学校づくり</p>	<p>(1) 地域連携と地域貢献</p> <p>(2) 専門高校としての特色を情報発信</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前授業やボランティア活動などの地域貢献に努める。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校教員向け説明会を開催する。</li> <li>・ 1年生の出身中学校への訪問を実施する。</li> <li>・ 教員で中学校への訪問を実施する。</li> <li>・ 本校独自の説明会（部活動紹介を含む）を実施する。</li> <li>・ 各種説明会に参加する。</li> <li>・ ホームページを内容を充実させる。</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習に関する出前授業の実施 10 回以上。[ 8 回]</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校教員向け説明会を年に 4 回開催する。 [ 0 回]</li> <li>・ 1 年生徒の出身中学校訪問 40 名以上 [ 0 名]</li> <li>・ 教員の中学校訪問 60 校以上 [ 30 校]</li> <li>・ 学校独自説明会等 8 回 [ 0 回]</li> <li>・ 中学校、地域主催等説明会年間 20 回以上に参加 [ 1 回]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 回参加 (○) 中学校出前授業 5 回 ※中止 1 回あり 西成地域活性化イベント 6 回</li> <li>・ 3 回実施 (△) 学校説明会同時開催 11/27, 12/7 2 回 工学系説明会同時開催 12/18 1 回</li> <li>・ 出身中学校訪問 20 名 (申込 26 名) (△)</li> <li>・ 45 校実施 (△)</li> <li>・ 22 回実施 (◎) 中学生体験入学 10/16 1 回 中学校進路相談対応 3 回 学校説明会 11/27, 12/7 2 回 工学系説明会 12/18 1 回 個別相談会 1/22, 2/5 中止 中学生希望相談日個別対応 15 回</li> <li>・ 15 回参加 (△) 学校説明会への参加 11 回 パンフ等資料提供 4 回 (コロナ禍で中止 2 回)</li> </ul>
---	---	--	---	--